



なかた ごうのすけ
中田 豪之助 議員

動画アップスタジオを 設定できないか

町長 条件に合うか今後検証していかなければならない

コロナ禍以降のまちづくり及び町政運営の方針

質問 教育、福祉、産業、自治、行財政全て大切な分野だが特にここは重点を置く、ここを突破口にする、これは死守するという政策はありますか。

町長 それらはどれも必要不可欠な分野で、「2030年における下川町のありたい姿」の実現には、全分野が重要です。しかし、全国的に新型コロナウイルス感染症の収束が見えず、長期化が懸念され、地域経済にも影響が出ています。町民の暮らしを守るには、特に、産業分野に重点を置いた施策を展開し、コロナ禍以降の中・長期的な視点において、社会変化を的確に捉え、足腰の強い産業づくりを進めて行きます。

再質問 産業分野に重点をおいた施策を展開という言葉を聞いて、大変心強い思

いをしています。ただ、足腰の強い産業づくりというのは言葉尻をとらえるわけではありませんが、少しあいまいに思います。政策と今後のビジョン、展開、理想像を語っていないように残念です。リーダーの仕事の一つに成功の定義という事があるそうです。まさに町長は下川町の産業、教育、住民の自治、どういうことが成功なのか。それを1年以内でどうする、10年後はどうする、そういうことを揭示して町民に示して、そこへ向かって引張ってほしいと思います。「結いの森」ではこの冬にはスズキ自動車の予約があり一息つけるが、その後の方策はありますか。

町長 12月15日時点の予約状況は、本年12月から令和3年3月までに延べ人数で約570名の予約をいただいています。今後の方策は、国及び北海道の支援策の停

止期間が延長されないことを期待し、行政視察の受入れ、観光、交流事業などのPR等、情勢を注視しながら必要に応じて、支援策を検討してまいりたいと考えています。

再質問 春と夏はもう休業、そのような考えはありませんか。

町長 現在のところ、まだ、その辺の状況を見据えることができないので、状況に応じて判断、決断をしています。

再質問 一つ提案ですが、春、夏、冬でも、シングルの部屋をいくつか改造して、最近リモートワークや動画発信ということが非常にコロナの中での流行し、たくさん利用されています。動画発信には、機材が必要になりしっかりとユーチューブに動画をアップしようと思うと、ある程度のデジカメやマイク、ライトが必要

要になります。このようなものについて少し調べましたら、一式15万円ぐらいでなんとかなります。そういう動画アップスタジオのようなものを結いの森に何部屋か設定して、お客さんあるいは、町民のニーズに添えて、スタジオの使用料いくら、そうして貸し出すと利用も増え、町内町外だけでなく、いろいろ発信するようなアイデアが増えると思います。

町長 非常にいいアイデアです。今リモートワーク、テレワークなどのオンラインを活用した利活用の仕方はあるのではないかと思います。ただ、これも補助事業を受けています。またスズキ自動車から相当な寄付もいただいています。そういう条件にあうかどうかというのは、今後検証していかなければならないので、ご理解いただきたいと思います。

※紙幅の関係でここに載せられなかった部分が多くあります。ぜひユーチューブもご覧ください。